

亀西コミ協 たより

第37号

全戸
配布



令和4年8月31日
編集・発行
亀田西小学校区
コミュニティ協議会
(制作 広報部)

〒950-0195
新潟市江南区泉町3-4-5
新潟市江南区地域総務課内
TEL 025-383-1000(代表)

防犯情報交換会 令和4年8月20日(土)

コロナ感染症の感染拡大の影響で活動の中止や変更を余儀なくされてきた。そんな中、自治・町内会の協力をいただき「防犯情報交換会」を江南警察署生活安全課の遠山圭様をお迎えし開催した。

清野会長の開会の挨拶で、「安心安全」のためにどうすればよいか、それは「安」の字を取った「心が全て」皆さんが心を一つにして取り組むことが安心安全を生むと話された。

情報交換では、旭・大月と51区中島大月自治会の取り組み状況の提案を受け話し合いを進めた。①旭大月では、自治会長退任者が防災組合の長になり、40数名で活動を展開する。4月の総会で活動の確認をし、下校見守りパトロール、警察署と連携しての高齢者・災害時要支援者見守り訪問、8月の防火予防夜間見守り巡回、11月の防災教室、大月公園への防犯カメラの設置(刑事事件での警察の要請以外は公表しない)②51区では、59区と共同で中島防災会を立ち上げているが運営が難しいこと。補導会の役員を中心に下校パトロールを開始、時間的制約等でスムーズな活動が出来ない。



話し合いの要約としては、*低学年の安心安全を確保するには、単独では限界がある。自治会同士の連携やコミュニケーション不足の解消が大切。*通学路の安全点検や環境整備の充実を図るため、公園管理の産業振興課等に相談する。

最後に、遠山様から認知症高齢者の保護件数が52件あった。対応の在り方を検討しているので、自治会から情報を入れて欲しいとのこと。他に、高齢者の支援活動の話の中で、振り込め詐欺の被害件数、被害額が7月現在で昨年1年間の約2億4千万円を超え、手口は自宅の固定電話を使って市役所職員等の名を語る。訪問はチラシ配布でき、家庭の様子が分かり有意義とのことだった。

安心安全副部長 阿部 悠



幹事会開催

令和4年5月27日(金)4月に着任した坂井江南区長をはじめ、来賓の方々、幹事の皆さんに出席いただき、幹事会を開催しました。

コロナ禍の中、なかなか思うように活動できないこともありますが、令和3年度の事業報告と令和4年度の事業計画が、予算も含め承認されました。

また、新しく新任役員として環境福祉副部長の荒川禎治さんも承認されました。



お知らせ

亀西コミ協たより36号に掲載した事業計画の中で、下記の事業はコロナ感染拡大のため中止となりました。ご理解の程よろしくお祈いします。

●防災研修●

声かけ見守り訓練実施

令和4年6月25日(土)亀田市民会館において声かけ見守り訓練を行いました。

昨年10月模擬訓練を実施したのですが、この活動を亀西コミ協全体の事業として継続していくことになりました。

今回は亀西コミ協の幹事の皆さんや様々な地域の方々に参加していただき、第一部は認知症を理解してこそできる～温かい声かけとは～という講座を聴き、第二部は江南区見守りシール(QRコード)を使った声かけ実践を行いました。

実際に声かけ訓練に参加した地域の方に感想を話してもらいました。



QRコード読み取り



声かけ実践



認知症講座

「声かけ見守り訓練」に参加して

6月25日、「声かけ見守り訓練」に参加してきました。認知症を理解して、高齢者等の困っている人にやさしく声をかけ、早期の発見と帰宅を支援するというものです。

訓練では認知症役の方に声をかけ無事に家族の元へ帰宅させるというものでした。まず感じたことは、声をかけるとき、少しの勇気が必要だということです。そして驚かせないように、やさしくゆっくり話しかけるといことです。話が噛み合わず困惑しましたが、「もし自分の親だったら」と思い話を進めていきました。親身になって接することが大事だと思いました。

私の父も以前、一人で家を出て、慌てて探したら、公園の溝に躓き、頭から血を流して「どうした?」と言われたことがありました。見つかったときの安堵感は今も忘れません。

誰もが経験するかもしれない「認知症」の方の行動を他人事だと思わず、まずはほんの少しの勇気を出して声をかけていこうと思いました。

西町在住 中沢 敏男

※QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

編集後記

亀西コミ協は、withコロナの中で「誰もが安心して暮らせる地域の実現」を目指し活動していきます。これからもよろしくお願いします。

広報部

コミュニティ協議会の運営・活動は新潟市の補助金を受けて実施しています。

～スローガン～

カメダ西 大きな輪になれ 笑顔と行動